

令和元年度 東京海洋大学基金 活動報告書



海洋の未来を拓くために
国立大学法人

東京海洋大学

Tokyo University of Marine Science and Technology

学長挨拶

東京海洋大学は、平成23年に「東京海洋大学基金」を設置し、皆様からいただいた貴重な寄附金は、優秀な学生への修学支援をはじめ、サークルや学生ボランティアへの活動支援に活用させていただいております。また、平成28年の税制改正に伴い、「修学支援事業基金」を設立し、経済的理由で修学を断念することがないように給付型の奨学金として学生を支援しております。

令和元年度においては、台風15号及び台風19号により被害が発生した館山ステーション及び富浦ステーションの復旧のための「館山・富浦ステーション支援基金」（令和元年度末で受入れ終了し、令和2年6月に「館山・富浦ステーション等保全支援基金」を設置）、大学院における5年一貫の教育プログラムである「海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」の設置に伴う「卓越大学院プログラム教育基金」等の新たなプロジェクトを新設しました。

そのほか、プラネタリウム修繕を含めた課外活動への支援、明治丸海事ミュージアム事業や雲鷹丸修復事業への支援も引き続き実施していくこととします。皆様の温かいご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。



国立大学法人東京海洋大学長

竹内 俊郎

令和元年度東京海洋大学基金事業報告

寄附金受入状況(26,976,259円)

寄附者区分	件数	寄附金額
法人	28	5,635
個人	445	21,341
合計	473	26,976

(単位：千円)

令和元年度の寄附受入額は、皆様からの温かいご支援により、2,600万円に達しました。東京海洋大学基金に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

事業実施状況(37,647,653円)

支援事業	経費
①学生の修学支援	5,216
②困窮学生への学資支給事業 (修学支援事業基金)	3,000
③教育環境の整備	695
④学術資料の収集・管理等	1,761
⑤明治丸修復、維持管理及び周辺環境整備	22,888
⑥その他基金の目的達成に必要な事項	4,087
合計	37,647

(単位：千円)

令和元年度は、寄附の目的に沿って右記の支援事業に充てさせていただきました。



トピックス

館山・富浦ステーション支援基金を設置し、皆様のご寄附で館山ステーション及び富浦ステーションの修復を行うことができました

令和元年9月、10月に関東地方に上陸した台風15号及び台風19号により被害を受けた、館山ステーション及び富浦ステーションの復旧費用を募るため、大学基金に「館山・富浦ステーション支援基金」を設置しました。

皆様のご支援により、受入額が153件1,647,000円（令和2年3月31日現在）に達しました。

皆様のご寄附及び国等からの支援により、水圏科学フィールド教育研究センター館山ステーション

及び富浦ステーションの修復を行うことができましたことをご報告させていただきますとともに、ご支援いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

なお令和2年6月をもって、館山ステーション及び富浦ステーションの復旧費用「館山・富浦ステーション支援基金」は終了し、今後は学生の実習場である水圏科学フィールド教育研究センターの保全等を支援するため、新たに「館山・富浦ステーション等保全支援基金」を設置しました。

復旧前



復旧後



卓越大学院プログラム教育基金を設置しました

令和元年度12月より、文部科学省令和元年度「卓越大学院プログラム」に選定されたことを契機として、大学院における5年一貫の教育プログラムである「海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラム」を設置しました。本プログラムをご支援いただくため、新たに「卓越大学院プログラム教育基金」を新設しました。



第2回「感謝の集い」を越中島キャンパスで開催しました

令和元年10月23日に、「東京海洋大学感謝の集い」（報告会及び懇親会）を越中島キャンパスの越中島会館で開催しました。これは、本学が平成23年に「東京海洋大学基金」を設立して以来、一定額（累計30万円）以上の寄附をいただいた方をお招きして、直接謝意をお伝えするもので、昨年度（品川キャンパス）に続き、2回目の開催となるものです。当日は約50人の方に参加いただきました。

報告会では、冒頭、竹内学長から挨拶があり、併せて台風15号、19号により被災した館山ステーション・富浦ステーションの被害状況と同ス

テーション支援基金の設置について報告がありました。続いて、平成30年度の事業実施報告、学生の海外派遣プログラムの紹介と実際に基金等から支援を受けて海外に派遣された学生による活動報告、さらには学生の課外活動団体である「海事普及会」の報告等がありました。

報告会終了後に開催された懇親会では、日本郵船株式会社特別顧問で、東京海洋大学理事（経営環境担当）でもある宮原理事からの挨拶・乾杯の後、歓談・情報交換が行われ、盛況のうち閉会となりました。



竹内学長の挨拶（報告会）



学生による海外派遣の活動報告



宮原理事の挨拶（懇親会）

附属図書館整備充実プロジェクトを設置しました

本学の学術情報基盤である附属図書館の整備充実を支援するため、附属図書館整備充実プロジェクトを設置しました。学生用図書を購入、アクティブラーニングを促進するような教育環境の整備等のために使用させていただきます。



品川キャンパス図書館
アーカイブスルーム

令和元年度基金活動報告

1. 学生の修学支援(学部のプロジェクト)

サークル活動をはじめ、大学祭等の大学行事、フレッシュマンセミナー等の活動支援を行いました。



空手道部



海王祭(越中島キャンパス)



海鷹祭(品川キャンパス)

実践的海洋技術者を育成するため、海外短期研修(インターンシップ)を伴う「海洋資源環境キャリア実習Ⅰ」を開講し、大学基金の支援を受け、受講学生のうちノルウェーへ10名、デンマークへ4名の学生を派遣し、貴重な海外体験・学習の機会を提供することができました。

ノルウェーでの実習



デンマークでの実習



2. 困窮学生への学資支給事業(修学支援事業基金)

経済的理由により修学が困難な学生を対象に、前期分及び後期分各15名の学生に対し、奨学金を支給しました。また、授与式の後は竹内学長と奨学生の懇談会を開催し、学生たちの現状を知ったり意見を交換する等、大変有意義な時間となりました。

修学支援事業基金授与式(令和元年7月19日)



品川キャンパス



越中島キャンパス

3. 教育環境の整備(学部プロジェクト)

海洋観測ブイ修理(海洋資源環境キャリア実習Ⅰにて使用)のため使わせていただきました。



キャリア実習



海洋観測ブイ

4. 学術資料の収集・管理(一般基金等)

ブックハンティング補助等のため使わせていただきました。



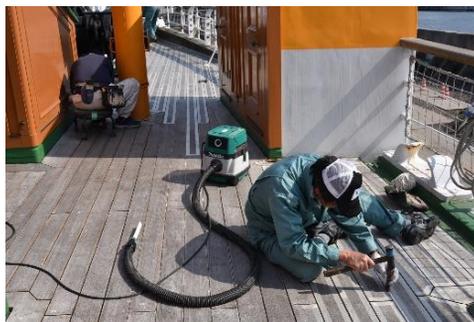
品川キャンパス図書館



越中島キャンパス図書館

5. 明治丸修復、維持管理及び周辺環境整備 (明治丸海事ミュージアム事業)

明治丸の修復及び維持管理のため使わせていただきました。



6. その他基金の目的達成に必要な事項 (一般基金、各プロジェクト基金等)

国費外国人留学生(研究留学生)延長推薦基準適格者に対する奨学金

「国費外国人留学生(研究留学生)延長推薦基準適格者に対する奨学金」事業により、平成29年4月に博士後期課程へ進学した優秀な私費外国人留学生(合計2名)への奨学金について、このうち半額を本基金から支援しました。

校友会総会・ホームカミングデー開催

越中島キャンパス越中島会館において、本学として初めての校友会総会・ホームカミングデーを開催しました。平成30年4月に発足した校友会は、在学生、卒業生、保護者、教職員など「オール海洋大」の交流の場として少しずつ着実に歩みを進めており、当日は、200名を超える校友(在学生、卒業生、保護者、教職員等)の皆さまにご来場いただき、校友会として新たな一歩を踏み出しました。



活動発表(写真部)



寮歌披露(雲鷹丸合唱団)

ご寄附への謝意(希望者のみ)

ご芳名の掲載

ご寄附いただきました方に深く感謝の意を含め、ご芳名を本学ホームページに掲載し、未永く歴史に刻ませていただきます。

感謝状の贈呈

累計で10万円以上のご寄附をいただいた方に感謝状を贈呈します。

銘板への掲示

累計で30万円以上のご寄附をいただいた方のご芳名を銘板に掲示させていただきます。

また、感謝の集い(年1回開催)へもご招待させていただきます。寄附者銘板は両キャンパスに設置しており、品川キャンパスは本部管理棟1階の入り口そばに、越中島キャンパスは1号館1階の入り口そばにそれぞれ設置しておりますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

寄附者銘板(越中島キャンパス)
銘板掲示数148件(R2.3現在)



※紺綬褒章の授与

個人で500万円以上、法人・団体で1,000万円以上のご寄附をいただいた場合、国からの紺綬褒章授与の対象となります。

基金についてのお問い合わせ、ご連絡

東京海洋大学総務部基金渉外課 までお問い合わせください。

住所：〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

電話：03-5463-4279 FAX：03-5463-0359

E-mail：kikin@o.kaiyodai.ac.jp

ホームページ：http://www.kaiyodai.ac.jp/kikin/